

「雨だね」「雨ですね。渇水でカラッカラかと思えば、夜毎の大雨とか、まさに20年前温暖化がもたらすと予言してた姿そのものですね」「科学の勝利ってやつかな」「勝利 ... まあ科学の勝利、政治の敗北でしょうね」「ところで最近どうなの?」「秋のわくわくプレゼントですか? いやーこれが」「うん、まあ ... そうくるとは思ってたけど」「なかなかキビシイんですねー」「おや? まずらしく弱気だね」「そもそもこのキャンペーン、抽選ってのがね ... 春は頑張れば必ずもらえますから頑張るわけですけど、秋は抽選ですから、なにしろ ...」「夏も抽選だったでしょ?」「夏も抽選でした。でもですね、夏は春とほぼほぼ同じ重みなんです。それに対して、秋はキッツキッツになってます」「... そんなにちがうもん?」「違いますよ。夏はですね、そもそも3点がないんです。それでA賞がお菓子セットで10,000名、エントリに必要なのが5点。B賞がえらべるPay3000円分で、こちら5点。こんなランチパック3つで1点余るんで

すから楽勝です。それに対して、秋はほとんどどの賞品が1点なんです」「1点 ...」「しかもですよ、2,500組5,000名様に当たるパークチケット+ギフトカードのセットには20点、45,000名様に当たるお菓子のファンタジーボックスは5点必要なんです。春は30点必要ですけど、必ず貰えるのでハズレなし、一方で秋はあくまで抽選。さらに春や夏は結構いろんな商品にシールが付いてるんですけど、秋はほとんどついてないんですよ。そこらのスーパーで2点取ろうと思ったら、食パン買うしかないです。食パン以外でなんとかしようと思うと、ほぼ点数分賞品を買わないと応募すらできません。一方で高い点のシールはデイリーストアで売ってるので、これは事実上デイリーストアに行けという、極めて強いメッセージを含むキャンペーンなんです!!」「... 鼻息荒いね ...」「いつものペースで頑張ってるのですが、なにしろランチパックが1点なのが痛い。ぼつりぼつりと応募はしてますが、大変苦戦してます ...」「ふ

ーん ... 猿も木から落ちるってやつかね」「あ、ひどーい。まあね、2,500組にしか当たらないA賞は、正直眼中にないです。狙ってるのはB賞ですよ。なんですけど、やっぱりねえ ... まあ、切って不要になったからやってるようなもんです」「そんな弱気じゃ当たるものも当たらないよ。ここはヤマパンファンとして、もっとグリーディに点を取りに行く局面なんじゃないのかな?」「分かってます。わかつちゃあいるんですけどねえ ... 抽選ってのがねえ ... これ100点集めたら必ず、とか言われたら頑張れるんですけどね」「... 破産しそうな勢いじゃないか」「破産 ... 破産と言えば、claudeですよ」「ん? そうつながる?」「ほら、claude code、何かと評判いいじゃないですか。いままでcursor使ってたんですけど、じゃあ試してみるかと思ったんです」「ふーん。あれ、無料でできるんだっけ?」「それがダメなんです。月額20ドル、日本で買うと消費税がついて22ドル、のpro以上じゃないと使えないんですね、これが」「有料

One Point BUZZ WORD

START.md

現在「調整くん」「補佐くん」「修正くん」「検証くん」「提案くん」の5人組でやってるが、どうしても全体の進行管理とユーザーの対応をやらせよう「調整くん」が能力不足な感じ。一応各自反省して、何か間違ったことをしたら、それを回避するようなことを考えて、記録して、みんなに配って、みたいなことをやってはいる。ここ3日ぐらいで70バージョンを突破して大したもんだと思うんだけど、実際には「START.mdにあったのですが実行を忘れました」「読まずにすすめました。読んだら書いてありました」「今日8度目の過ちです」とか、結局あんまり役に立ってない感じ。それでも調整くん以外はそれなりに仕事をこなしてくれてるので、実装・検証・配布というループで考えると、かなり生産性は上がってる気がする。最大の問題は調整くん、仮

説に基づいて測定をし、仮説が否定される事実を見つけて改良する、みたいな作業が延々続くとか何を優先処理すべきかがわからなくなってきて、デフォルト値を当てておわりみたいな作業についてもひとつずつ全件確認してから埋めましょう、とか無茶苦茶なこと言い出したりするのが問題。炎の転校生的に言えば、「心に棚を作れ」が出来てないし、棚に置いたとしても置き忘れるんだよね。このあたりはもう少し頑張ってほしい感じ。Fableだと良くなるのかしら ... 今のところopus5でやってるけど。

まあそれでも自分でコードを書いて検証して、動作を見ながら改造する部分考えて、みたいなやり方に比べると、作るだけなら数百倍のスピードになってると思う。イーロン・マスクがプログラマーという職業はあと10年持たないとか言ってるけど、確かにAIさんたちが自分で進化を始めたら追いつけないな、とは思う。一方で日本語で言うところのミニドシマだったりするので、まあニヤニヤしながら仲良くやってくしかないな、うん。

なのか。まあ、そんなもんだらうね」「cursorでも同じモデル使えるんですけど、claude code にするとコンテキストが広くなるんですよ。それで使ってみたんですけど、これがなかなか」「なかなか ... なに?」「使えないんですね、これが。claude だと大きく2つの縛りがあって、5時間ごとのトークン上限と、1週間ごとのトークン上限があって、どちらかに引っかかると思えるんですわ」「止まるんだ」「止まります。というか、別払いのクレジットを用意しておくとか処理を続けられるんですけど、これがなかなか。日本語で言うところの、タケノコハギってやつですね」「物騒だな ... あれでしょ、処理を続けたかったらちょっと高いけどクレジットで払ってね、ってことでしょ」「まあそうです。そうすると、ユーザーとしては考えるわけですよ。まあよ、自分の使い方だと5時間分のトークンを3時間で使い切ってしまう。かといって5時間フルに使うと思うと、とんでもないクレジットが必要だ。これはもしかして、ProからMaxに切り替えたほうがオトクなんじゃないか。そう思って、月額100ドル、消費税ついて110ドルのMaxに切り替えるわけです」「はあ、クレジットは心理的障壁になってるわけだね」「そうです。タケノコハギで5ドルづつ払うなら、いっそのこと110ドル払って制限なしにしたほうがいいんじゃないかと。これが悪魔の囁きなわけです」「ほう」「確かに110ドル払うと、今までの5倍のトークンが使えるわけですよ。いままで3時間で消尽してたトークンが、5時間制限に収まったまま5時間使えるようになるわけですよ。大満足だともうじゃないですか?」「ん?満足じゃないの?」「だんだん話が込み入ってくると、aiくんも一人じゃ足りないわけですよ。調査する人、実装する人、検証する人、調整する人とか立ち上げていくと、やっぱり5時間に収まらなくなってくわけです。人数に比例して

トークン消費していくわけですから」「まあね ... できるとなったら色々やりたくなるのは人情だもんね」「で、ここに最大の落とし穴があるわけです。Maxは5xバージョンと20xバージョンがあります。5xバージョンは110ドルなのに対して、20xバージョンは220ドルなわけです。でも、本当に必要なのは10xバージョンぐらいなんですけど、そのカテゴリは買えないんですよ」「なるほど ... 10倍なら220ドルになりそうだけど、その金額で20倍使えるということなんだね」「お得に見えるんですけど、出ていくお金の絶対値は大きいんですよ。で、実際20xにしてみると、もう一切制約に引っかからないんですよ。5時間上限も7日間上限も気にせず使えるわけです」「そうか ... そりゃ引き返せないね」「そうなんですよ」「それで何、今はどうやって使ってるの?」「AIさんの特長は『一つのことを集中してやらせないとなすい』っていうのがあるんです」「... そうなの?」「事前の取り決めを読んで、一生懸命それに合わせようとはしてくれるんですけど、問題が複雑だったりすると一部を勝手に端折るんですな」「ふーん」「それで指摘すると、私の間違いでした、とか言い訳するんですよ。AIの料金って入力より出力が高いんですけど、ああやってべらべらと自分の不手際を微に入り細に入り詳らかに説明するのは、こっちのトークン使用量を食い潰す戦略何じゃないかと思えますね。日本語で言うところのフルーツモリってやつですか」「まあコトバにしてもらわないと伝わらないから、ある意味仕方

ない所あるよね」「とにかく、細かく見てないと手を抜くし、調べたと言って調べないし、報告したと言って報告しないし、約束は守らないし。嘘はつくものの、一つのことをやってもらってる限りはまあ機能するんですよ。ところが一度に複数の案件を管理させようと思うとダメ。旗から見てると、やるべきことが「頭に入らない」状態なんですよ。そしてだんだんおかしくなっていくんですよ」「おかしい?」「なんか頭が痛いですが、それまで(1)(2)(3)とかで出していた選択肢がいきなり甲乙丙になったりとか、ついさっき伝えたことをそれは初めて伺いましたとかとぼけるとか」「ふーん。確かに、新人がパニックってわーってなってるみたいな状況だね」「でしょう?そこをうまく具合になだめながら使うんですけど、今のところは5人一组で動かしてます」「ふーん。5倍単価ということか」「ですね。でも20xなんで、制限には引っかからないんですが ... もうちょっとマルチタスクで動けるようにならないと、完全におまかせするのは危険ですね」「ふーん ... まあ大変だね」「そうですね、AIさんの使用料で破産しそうですね」「24か」「?」「ハッサンニジュウシ」「ぐべし」

Hiroyasu Sakaguchi
フリーITエンジニア

SWE  DISH

ニッサン新エルグランド4WD
5名定員

1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載
車高2.2m 以下(地下駐車場可)
3.6 KVA NMG アイドリング運用
水圧エコ・ボール4m 搭載
強化サスペンション
国内(100V)海外(240V)対応
IPコントロール
ハイビジョン映像伝送
運転席からワンマンオペレーション

SMART SNG
HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

<http://www.bizeat.jp>



設計・製造・衛星通信のことなら
エーティコミュニケーションズ株式会社
TEL: 03-5772-9125

AT Communications k.k.